

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年10月30日

野菜よもやま話

ミニ白菜

昨年の今頃は台風被害の影響でさまざまな野菜の生育が不順でしたが、今年は全体的に長かった梅雨と8月の猛暑の影響が出ています。夏から秋に収穫のミニトマトは、猛暑の影響をうけ、収量が激減しています。里芋も子芋の太りが遅れているので、これからに期待したいところです。

そんな中、ミニ白菜は予定通りに出荷が始まりました。ミニ白菜はハウスや、ビニールの覆いなどを使わず、自然の中で露地栽培をしています。芝山町の松本重之さんに伺うと「今年は時期としては順調に収穫を向かえましたが、高温による「縁枯れ」の症状がでてしまいました。生育中の高温のせいで肥料を急激に吸いすぎて、葉の縁が茶色くなってしまおうんです。そこから傷みにつながることもあって、雨の日の収穫では無事に届くか心配です。」と言います。縁枯れは徐々に減っていきますが、11月中旬まで残りそうです。収穫は包丁で根を切るのですが、大玉の白菜よりも根が細いので、ザクッ、ザクッとテンポよく進みます。「一日最大600玉を収穫することもあります。軽トラ2台に

満杯詰めです。」と松本さん。土や外の葉を落として、箱詰めし、今日も房総食料センターへ向かいます。(B)



ミニ白菜を収穫する
松本重之さん・満寿江さん夫妻